

私学の魂

跡見学園中学校高等学校

「学ぶことは、心を強くすること」と考えた 学祖・跡見花蹊による建学の理念をいまに受け継ぎ、 幅広い教養と諸芸術による情操教育を柱に 一人ひとり「色とりどりの未来」を育てる伝統校

日本人の手で設立された初めての女子校である跡見学園。その学校名は古くから国内で広く知られています。創立者・跡見花蹊は1858（安政5）年から大阪で私塾を開校していましたが、明治維新後間もなく東京に移り、1875（明治8）年、35歳のときに跡見学校を開校しました。すでに画家・書家として知られていた花蹊は、芸術の心を持って新時代に生きる女性の育成をめざし、跡見学校での教育をスタートしたのです。

その跡見学園中学校高等学校は、伝統である幅広い教養と諸芸術による情操教育に加えて、確かな学力・人間力をキーワードに、未来を切り開き、世界へ羽ばたく女性を育成し、高い学力としなやかな心（＝感性）を持つ女性教育のさらなる推進を使命と考え、2016年4月からは、新たなクラス制の導入に踏み切りました。それが、「Iクラス（Kakei Independent Class）」と「Pクラス（Atomi Principled Class）」の2コース制です。

今回は、その跡見学園の校長を2016年から務める校長の杉本昌裕先生と、副校長の和田俊彦先生にお話を伺いました。



校長 杉本 昌裕先生



副校長 和田 俊彦先生

DATA 1

跡見学園中学校高等学校

沿革	1858（安政5）年	跡見花蹊が大阪にて私塾を開く
	1875（明治8）年	東京神田中猿楽町において、跡見学校開校
	1885（明治18）年	米国ワットソン夫人を招いて英語教育を始める
	1888（明治21）年	小石川柳町の新校舎落成式ならびに新築記念祝賀式
	1913（大正2）年	新校舎落成式、財団法人跡見女学校設立認可
	1915（大正4）年	女子校として最初の校服制定
	1930（昭和5）年	洋装（2代目）校服制定
	1951（昭和26）年	財団法人跡見女学校を学校法人跡見学園に組織変更認可
	2015（平成27）年	学園創立140周年

校長 杉本 昌裕

所在地 〒112-8629 東京都文京区大塚 1-5-9
TEL：03-3941-8167（代表）
<http://www.atomi.ac.jp/jh/>

交通 東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷駅」から徒歩2分。同有楽町線「護国寺駅」から徒歩8分。

目で鑑賞し、手で創り出し、心で考える 日本最古の私立女子校の教養・情操教育

その学校名は古くから国内で広く知られる跡見学園。その創業者・跡見花蹊は、1875（明治8）年、35歳のときに跡見学校を開校しました。

日本が誇る伝統や文化を踏まえ、豊かな教養と高い人格に加え、自律し自立した女性を育てるという、当時の日本では斬新ともいえる新たな志と意識を持って、教育の現場に身を投じたと語り継がれています。以来、140年以上にわたって受け継がれてきた花蹊の教えは、多くの女性を育み、現在まで大きな足跡を残しています。

その後、高等女学校となり、戦後の学制改革を経て中学部を設置。1950（昭和25）年に短期大学を、1960（昭和40）年に大学を設置し、中等教育～高等教育に関わる女子教育の場となりましたが、跡見学園中学校高等学校は、そのルーツであり、花蹊のめざした教育の根幹を形作ってきた場でもあります。

その跡見学園中学校高等学校が、2015（平成27）年の創立140周年を節目に、時代の変化とニーズに即した新たなブランドデザインの構築に着手したのが2013（平成25）年。その方向性が固まった2016年4月に、杉本昌裕先生が校長に着任しました。ご自身も東京藝術大学を卒業し、日本画や美術工芸の研究者である杉本先生はこう語ります。

「学祖・跡見花蹊による建学の精神にのっとり、本校は、幅広い教養とともに、諸芸術による情操教育に重きをおいています。そして、これらの学びが強い心を育むという考えから、『学ぶことは心を強くすること』という教えを連綿と引き継いでいます」

人工知能（AI）の進化によって、いまの子どもたちが社会に出る時には、職業の在り方も大きく変化していることが予測されるなかで、自発的な学びや創造的な学びこそが、教育で大切にされるべき課題だと跡見学園は考えています。

「そうした自発的な学び、創造的な学びの力は、本校に代々受け継がれてきた『目で鑑賞し、手で創り出し、

心で考える』教育で身につく学力・人間力そのものです。中学・高校の6年間で、自己・集団・社会・自然とかかわるなかで、自ら進んで学び、心を強くする教育を実践していきます」と杉本先生。

跡見学園中高に新たな風を吹き込んだ 「Iクラス（Kakei Independent Class）」と 「Pクラス（Atomi Principled Class）」

そして跡見学園中学校高等学校は、伝統である幅広い教養と諸芸術による情操教育に加えて、確かな学力・人間力をキーワードに、未来を切り開き、世界へ羽ばたく女性を育成し、高い学力としなやかな心（＝感性）を持つ女性教育のさらなる推進を使命と考え、2016年4月からは、新たなコース制の導入に踏み切りました。

それが、「Iクラス」と「Pクラス」の2コース制です。

「Iクラス（Kakei Independent Class）」のKakeiは学祖・跡見花蹊の名に由来し、Independentは「自立した」という意味の英語で、跡見学園の教育目標を体現する“自律し自立した女性の育成”をめざした教育を行うクラスです。難関大学合格と社会を牽引する女性の育成を目標とする、「難関進学クラス」です。

「Pクラス（Atomi Principled Class）」のAtomiはやはり学祖・跡見花蹊の名に由来し、Principledは「原理原則に基づいた」という意味の英語で、女子教育教育のパイオニアとして跡見学園が大切にしてきた教育原理をベースに、現代社会の要請に応える教育を行うクラスです。GMARCHクラス以上の大学合格と個性を生かす女性を育成する「総合進学クラス」です。

「この数年の跡見学園中高の教育は、ややもすると伝統文化に対する想いが強すぎたかもしれないという反省もありました。以前は意識しなくても実現できていた難関大学への進学意識をさらに強め、あらためて女子の進路目標を明確に打ち出すことで、学内に新たな活気を生み出し、受験生と保護者の希望や要請に応えるために、このコース制を打ち出しました」と杉本先生は言います。

導入初年度の現中2は「Iクラス」×2クラス、2年目の現中1も「Iクラス」×2クラスという編成になっ



ています。杉本先生をはじめ同校の先生方は、その手ごたえを十分に感じているといえます。

「この『Iクラス』、『Pクラス』の導入によって、良い刺激と緊張感が生まれたように感じています。生徒の意識や授業に挑む雰囲気も、それ以前よりもピリっとしたものに変わってきたと思います」と、副校長の和田先生。

「ただし、本校の教育のベースである、校内外の豊かな『体験』の場は、どちらのクラスでも変わりありません。また、女子校のなかでは1学年の生徒数の規模が多いことによる“多様性”は跡見学園の特色のひとつです。それぞれの存在を自然に認め合って互いを尊重する文化が受け継がれていることが、本校を選んでくれる家庭に好まれているのではないかと考えています。それは今後も変わらず大切にしていきます」と和田先生は強調します。

未来を切り開く学力と人間力を育む 跡見学園の教科教育のコンセプト

跡見学園が創立時の神田中猿楽町から小石川柳町を経て、現在の大塚校地に移転したのは1933（昭和8）年。1990（平成2）年には中高の新校舎が建てられ、2007年（平成19）年の短期大学部の閉学後の跡地に翌年、8階建ての大学新校舎を完成させ、新たな教育環境の充実を図ってきた跡見学園。

そのキャンパスに一度でも見学を訪れると、都心部では珍しい土のグラウンド、温水プール、実験室、実習室、本格的な茶室などを備えた、その恵まれた教育環境を体感できることでしょう。

とくに伝統の芸術・情操教育のための「本物を体験できる」施設や機会は、日本最古の女子教育の私立学校ならではの恵まれたものです。なかでも本格的な設備を備えた美術室、工芸室、作法室（和室）などは、



跡見学園中高の教科学習は、すべて「目で鑑賞し、手で作り出し、心で考える」。

跡見学園中高の教科の学びのコンセプト（一部抜粋）

教科	学びのコンセプト
国語科	心ある言葉の使い手となる
数学科	成功体験を積み重ねて、自信と数学力を養う
英語科	英語を第二の母国語として使いこなす
理科	五感を使って学ぶ
社会科	平和で民主的な「地球市民」として生きていく
保健体育科	様々なことに挑戦する
情報科	情報社会を生き抜く女性になる
技術・家庭科	生活のなかで心の豊かさを生み出す
音楽科	ジャンルを問わず音を楽しむ
美術科	何に価値を見出すかを考える
習字書道	本物の「跡見流」を受け継ぐ
工芸科	自分の手でモノを生み出す喜びを感じる

公立中学校や他の小規模な女子校からすれば、羨ましい限りの充実したものです。

「目で鑑賞し、手で作り出し、心で考える」跡見学園の教育は、この恵まれた教育環境やリソースのもと、日常の学校生活のなかで、ごく自然に豊かな感性が育まれていくものと理解してよいでしょう。

「学力」＋「人間力」＝「未来を切り開く力」と謳われた跡見学園の教科教育の方針は、「『本物』に触れ、豊かな心を育てる」、「目と手と心を働かせ、思う人から考える人へ」、「他人を尊重し、自らの責任を果たす」、「コミュニケーション能力の向上をめざす」という4つの柱に象徴されます。

同校の「学校案内」に紹介された、各教科の学びのコンセプトにも、その理想が掲げられていますので、その一部を抜粋してご紹介しておきます。



詳細な内容に関心のある方は、同校の「学校案内」をご覧ください。説明会に足を運んでお話を聞いていただきたいと思います。この抜粋からだけでも、各教科・科目とも、格調高く雅やかなコンセプトを感じ取ることができます。

とくに跡見学園の教育の真骨頂ともいえる美術や習字書道、工芸科などの教育目標は、生涯にわたっての教養や人間力のベースとなる、様々な「本物体験」教育といえるでしょう。理科でも「五感を使って学ぶ」



ダンス部



踊る門には福来る。
WE LOVE ADC!!

活動日 月、水、金、土(不定期)
部員数 136人(中58・高78)

器楽部 (吹奏楽班)



さまざまな楽器が織りなす
ハーモニーを奏でましょう。

活動日 月、火、木
部員数 82人(中46・高36)

クラブ活動が盛んなことも跡見学園中高の特色のひとつ。これに「放課後プログラム」も加えて、自分の好きな放課後の過ごし方を組み立てることができる！

とあるように、顕微鏡は1人1台備えられた理科室で「週1回は実験に取り組む」方針で、それをレポートにフィードバックする授業が大切にされています。

生徒一人ひとりが選んで組み立てられる「放課後プログラム」とクラブ活動

「さらに、多彩なクラブ活動に打ち込む生徒が多いのも本校の特徴です。11の運動部と、18の文化部（ともに同好会を含む）があります。これも跡見の多様性といえるのではないかと思います。ダンス部や吹奏楽部などはかなり高いレベルで活躍していますし、能を舞う謡曲仕舞同好会があるのもユニークでしょう」と、多くの在校生が自分の好きなものに打ち込む姿に、校長の杉本先生は目を細めます。

そして、跡見学園中高のもうひとつの大きな特徴が、クラブ活動との両立もでき、個々の才能を伸ばす多彩なメニューから、様々なことにチャレンジできる「放課後プログラム」です。

「この放課後プログラムのひとつ『Japanese Culture』では、茶道、華道、箏曲の講座を受けることができます。日本の伝統文化を学び、豊かな感性と教養を身につけ、日本独自のおもてなしの精神を体感することができます」と杉本先生。

そのほかにも、この「放課後プログラム」には、英検の合格に向けた実力を養成する「英検Attack」、自由英作文に強くなる上級者向けの「英文ライティング」、ネイティブ・イングリッシュに触れ、総合的な英語力UPをめざす「English Channel」のほか、難関

大受験のための講座や、指名補習による講座もあります。

「各教科の学習に加え、こうした『放課後プログラム』やクラブ活動に、各自の好みや将来目標に合わせて自ら選んで取り組むことができるのが、本校の教育の大きな特徴です。楽しい学校生活を送りながら『人間力と学力』を育み、刺激し合える友達や新しい知と出会い、感性や個性を磨きながら日々を過ごしてほしいという願いが込められたものでもあります。こうして個々の生徒が自ら選んでカスタマイズした『私の放課後』と、日中の教科教育が一体となって、跡見学園中高での一日の学校生活が形作られているわけです」と杉本先生。

「家庭で幼少時から続けている習い事やお稽古事なども含めて、それぞれの生徒のスタイルで充実した中高生時代を過ごすことで、学力と人間力をともに高めていってほしいと願っています。本校の生徒は、学校でその日体験したことを家で楽しそうに保護者に話してくれることから、家庭での話題が増えたという、嬉しい感想をいただいたこともあります」と副校長の和田

私の放課後①		私の放課後②		私の放課後③	
月	放送部	月	イクラス授業(7時開始)	月	器楽部(吹奏楽班)
火	English Channel	火	華道	火	器楽部(吹奏楽班)
水	放送部	水	謡曲仕舞同好会	水	English Channel
木	図書館で自習	木	イクラス授業(7時開始)	木	器楽部(吹奏楽班)
金	放送部	金	先生に学習の質問	金	図書館で自習
土	お稽古事	土	謡曲仕舞同好会	土	習い事

跡見学園中高の「学校案内」に紹介されている「私の放課後」の例(一部抜粋)。クラブ活動、放課後プログラム、お稽古事と学習に無理なく時間を使うことができる。

先生。

このフレキシブルで選択肢の多い跡見学園の「放課後プログラム」やクラブ活動のあり方は、小さな頃から、わが子が興味や意欲を持って取り組みたいと思った習い事や芸術、音楽、スポーツなどを、中学に進学してからも継続しつつ、しっかりと学力や文化教養も身につけてほしいと願う保護者や家庭にとっては、まさに最適の教育環境という見方もできるのではないのでしょうか。

今後はさらに充実を図ることをめざす「海外研修プログラム」と「ICT教育」

もうひとつ、跡見学園中高の今後の教育展開でさらなる充実をめざしているのが、先の「放課後プログラム」の「English Channel」や「英検 Attack (検定・試験対策講座)」と並んで、生徒の英語力アップとグローバル教育の重要な一端を担う「海外研修プログラム」です。

跡見学園の英語教育の「6年間のビジョン」は、“みっちり英語漬けの6年間！(p.23 参照)”。教科書には『ニュートレジャー』を使い、ネイティブの指導による音声重視の授業や、校内での「音読検定」、そして「放課後プログラム」と一連の「海外研修プログラム」が一体となった英語の体験学習によって、誰もが無理なく自然に、今後の社会で求められる英語力を身につけられる英語教育をめざしています。

「2015年の創立140周年を期に検討された今後の跡見学園教育のグランドデザインでは、『IB(国際バカロレア)』の認定なども検討されましたが、当面は、いまの本校の英語教育のプログラムをブラッシュアップすることで、2020年の大学入試改革にも十分に対応できる英語力を育てることが可能と考えました。ただ



跡見学園中高の英語教育では、徹底して音声を重視。ネイティブの授業や放課後プログラム、海外研修プログラムなどの相乗効果で、無理なく英語力を高めることができる。

学年	研修先(国名)	期間	費用
中学生	ニュージーランド(ニュージーランド) ニュージーランド海外旅行、ニュージーランドの自然と文化に触れる7日旅行。	3月半(7日旅行)	60万円
高校生	オーストラリア(オーストラリア) オーストラリアの自然と文化に触れる3週間。	7月半~8月(16日旅行)	29万円(週休)
高校生	オーストラリア(オーストラリア) オーストラリアの女子校に10日間滞在する留学制度。	7月半~8月(10日間)	約52万円(週休)
高校生	オーストラリア(オーストラリア) オーストラリアの女子校に10日間滞在する留学制度。	7月半~8月(14日旅行)	約55万円
高校生	オーストラリア(オーストラリア) オーストラリアの女子校に10日間滞在する留学制度。	3月半~4月(11日旅行)	約50万円

し今後は、「海外研修プログラム」の定員枠をなくして、たとえば中3全員が海外体験できるプログラムの導入なども検討しています。個人的には、『美術を英語で学ぶ』授業なども行ってみたいと考えています」と、美術が専門の杉本先生。

一方、アメリカの大学院で英語教授法を学んだという副校長の和田先生は、現地でも黎明期のインターネットと出会い、衝撃を受けたと言います。1995年から日本の小中高をインターネットでつなぐ『100校プロジェクト*』に携わり、以来教育でのICTの普及に尽力してきました。跡見でもG-スイート**を導入し、活用方法を研究中です。

「デジタルの良さと、日本の教育の良さを生かしたベストミックスの教育もめざしていきたいと考えていま

跡見学園中高の「放課後プログラム」

(2017年度の概要抜粋)

プログラム名	講座名	曜日
Japanese Culture	茶道	月、木
	華道	火、水
	箏曲	火、金
英検 Attack	目指せ英検-3級~準2級-	火
	目指せ英検-準2級~2級-	月
	目指せ英検-準1級-	水
英文ライティング	英作文コース-上級-英検2級以上対象	土
	英作文コース-初級~中級-英検3級~準2級程度対象	金
English Channel	English Skills-Starter-	火
	English Skills-Starter-	水
	English Skills-Basic-	金
	English Skills-Basic-	土
	English Skills-Middle-	木
難関大受験クラス	English Skills-Returnees-	月
	H2 国語	金
	H2 数学・理系	木
	H2 数学・文系	月
	H2 英語	火
	H3 国語	金
	H3 数学・理系	火
	H3 数学・文系	火
指名補習	H3 英語	木
	英語	週1
	数学	
国語		

*通産省と文部省(当時)の合同プロジェクト(1994-1996)。当時の日本では「インターネット」ということばすらほとんど知られていなかった。

**Google社が提供している教育用プラットフォーム。

跡見学園中高の「放課後プログラム」〈一部抜粋〉

国際大受験クラス 国際大受験クラス
高校2・3年生を対象とした受験対策講座です。国語、英語、数学、理科、社会、読書の中から希望の科目を選んで受講し、個別に大学・私立大を目指します。生徒一人ひとりの能力や個性に応じ、効果的でポイントを抑えた指導が受けられます。

英語 英語
専攻では、音を聞き取り、入力を繰り返す学習を、高度な聴解力向上のための指導を受け、卒業時には、海外の大学・私立大の入学が認められます。また、文化祭では英語で歌われる歌を歌って、お楽しみをいたします。

英語 英語
英語の基礎は、読みを徹底的に、音のある言葉で行われます。電子辞書や辞書の活用を受け、卒業時には、海外大学への入学が認められます。また、文化祭では英語で歌われる歌を歌って、お楽しみをいたします。

英語 英語
専攻では、音を聞き取り、入力を繰り返す学習を、高度な聴解力向上のための指導を受け、卒業時には、海外の大学・私立大の入学が認められます。また、文化祭では英語で歌われる歌を歌って、お楽しみをいたします。

英語 英語
専攻では、音を聞き取り、入力を繰り返す学習を、高度な聴解力向上のための指導を受け、卒業時には、海外の大学・私立大の入学が認められます。また、文化祭では英語で歌われる歌を歌って、お楽しみをいたします。



海外研修プログラムでは、海外の中高生とも交流しながら、英語でのコミュニケーションの力を育てる！

いることも跡見学園の多様性と世界観の広さを物語っています。

来春 2018 年入試では 2/4 に「思考力入試」と「英語コミュニケーションスキル入試」を新設！

す。ICT 教育の最先端校と比べれば、まだ導入の端緒についたばかりですが、今後はもっと積極的に推進していくつもりです」と和田先生。

中学 3 年次の修学旅行では、平和学習の一環として広島へも出かける跡見学園では、先の海外研修や高校 2 年次の京都・奈良への研修旅行、様々な学校行事を通して、それぞれの「つながり」や「世界観」を体感し、広げていくことが目標とされます。

これらの「実地・本物体験」を通して、様々な知識や感じ方、人との出会いを“編んでいく”ことのできるのが、いわば「跡見流」体験教育です。

そうして育まれた情操と感性が、多様で豊かな生徒の世界観の広がりにつながっていくわけです。

たとえば古典を重視してきた国語教育の成果か、OG に複数の作家を輩出して

そして跡見学園中学校では、来春 2018 年の入試から、新たに「思考力入試」と「英語コミュニケーションスキル入試」を導入します。

従来的一般入試は、「P クラス」入試を 2/1AM と 2/2AM の 2 回に、「I クラス」入試を 2/1PM、2/2PM、2/5AM の 3 回にまとめ、一方では 2/4AM に先の「思考力入試」と「英語コミュニケーションスキル入試」を新設して、これまで以上に多様な受験生、多彩な資質や才能、意欲を持つ小学生を広く迎え入れる入試を設けてくれたことで、多くの小学生にとって、「さらに受験しやすい」存在となりました。

校長の杉本先生のメッセージを借りると、「6 年間で一人ひとり色とりどりの未来」を実現できる学校づくりをめざす跡見学園のカラーと入試のあり方も、やはり“色とりどり”ということでしょう。

今回の取材を通して感じたことは、校長の杉本昌裕先生、副校長の和田俊彦先生をはじめ、跡見学園の教師陣の温かなお人柄と、そういう先生方が在校生の様子を見守る視線の大きさでした。

無理なく自然体で日々の学校生活を送ることのできる恵まれた環境で、多様な個性を持つ生徒一人ひとりの大きな成長をゆったりと見守ってくれる先生方の関わり方は、またそれも伝統の「跡見流」なのではないでしょうか。

そんな伝統の校風と、改革で吹き込む“新しい風”に関心を持った女子小学生と保護者は、ぜひ一度、跡見学園の見学に行かれることをお勧めします。

みっちり英語漬けの6年間！

- ① 学校に備えてきた後期に、English Channelを受講する。
- ② 春休みのニュージーランド体験留学に参加し、多くの刺激を受ける。英語2級合格。
- ③ 夏休みにオーストラリアの姉妹校へ。学校の代表として3泊4日のホームステイを満喫。英語2級に合格。
- ④ 10月期のターム留学にチャレンジし、海外の生活をつくる。英語2級合格。
- ⑤ 大学進学に加え、研修生プログラムで英文ライティングと英検準1級講座を受講。海外の生活とのやりとりが楽になる。
- ⑥ アメリカの大学への進学を希望。英語科の先生と相談して進路を決めていきたい。